

あす いま
未来のために、現在を変える

鶴 翔

Kaku

Shou



つるほ 庸介

後援会会報 No.25

〒640-8323

和歌山市太田3丁目7-12 ヤマイチ第一ビル1F

TEL:073-472-3311 FAX:073-472-3334

E-mail:info@tsuruho.com



大義をもって争うべき

参議院議員 鶴保 庸介

初めて海外に出たのが25年以上前。イギリスへの一人旅であった。目指すホームステイ先がスコットランドに近かったのだ、苦勞して電車やバスを乗り継いでいったのを覚えている。今般は、そのスコットランドで独立騒ぎがあった。いまの時代に何をいまさら、という感がないわけではないが、これが世界というもののなかだろう。世界には、よその国の人間にはわからない歴史や文化が連綿と息づいている。

初代007のショーン・コネリーはスコットランド出身であったため映画も、その訛りを生かした脚本に変えて製作されたという。やはり彼も故郷の誇りを大切にしていたのか、独立を声高に主張していた。なぜ彼らは独立を志向したのか。300年以上もの間、イギリス本国に対して恨みを抱きつづけていたわけではあるまい。北海油田が発見されたからとか、北欧のように高福祉の国家を目指そうとしたなど、諸説

プロフィール

鶴保庸介（つるほようすけ）

参議院議員（和歌山県選出、自由民主党）
昭和42年（1967）2月5日大阪府生まれ。東京大学法学部卒。○衆議院議員秘書を経て平成10年7月参議院選挙初当選、平成14年国土交通大臣政務官（2期）、平成18年参議院厚生労働委員長、平成22年参議院決算委員長、平成23年参議院議院運営委員長、平成24年国土交通副大臣。○参議院自民党政審会長、自由民主党政務調査会観光立国調査会事務局長

おもな内容

- 鶴保議員、参議院自民党政審会長に！
- 実体経済は？財政金融委員会で視察
- 観光先進地のニセコで懇談
- 鳥獣保護管理法が成立！
- これからが変革の正念場だ

ささやかれているが、日本にいたる真実はなかなか見えてこない。こういう時われわれ日本人なら側の情をもってあたるべしということだが、世界はそうはいかないらしい。

鯨は資源回復の是非に及ばず、守るべきものといった間にか決められているのだそうだ。

8月から9月にかけてモロッコに1週間滞在し、西アフリカ沿岸諸国の水産首脳と相次いで会談して臨んだスロベニアでの第65回IWC（国際捕鯨委員会）。

やはり今年も、捕鯨国と反捕鯨国の溝は埋まる兆しはなかった。特に今年は国際司法裁判所（ICJ）で日本が敗訴していたから、反捕鯨国が攻勢に出てくることはわかってきたが、彼らの発言のあまりのひどさには失望を禁じえなかった。

「鯨類資源の持続的活用とは、食べることでなく、見ることに」

（2ページへつづく）

(1ページからつづく)

「たくさん食べるものがあるのだから、クジラを食べる必然性は見いだせない」

「時代は変わっている。商業捕鯨は全面禁止にするべきだ」

これらは紛れもなく反捕鯨国の国を代表するような「知性」が実際に放った発言である。

資源の持続的活用が、捕獲するものでないという理屈が通るなら、マグロなど、そのために苦勞して国際ルールをたくさん決めていているこの世界の現状を、何だと思っているのか。たくさん食べるものがあるのに、というなら、なぜ牛や豚はいいのか。大体、ある民族が食べるものを、よその国の人に、なぜとやかく言われなければならないのか。

●捕鯨問題は外交の試金石

商業捕鯨を全面禁止するのなら、IWCの根拠となる条約、国際捕鯨取締条約（ICRW）を全面的に改正し、捕鯨禁止のための組織にするべきではないのか。ICRWは、鯨類資源の持続的活用のための国際条約である。

理不尽なことを一方的に言われると、亡くなられた東電の吉田さんではないが、「ばか野郎と言いたい」気持ちにもなる。ところが会議場の外に出てみると、シーシェパードが垂れ幕を下げて待ち構えていた。見ると、「日本よ、お前らは、ばかか」と書かれている。最悪である。

私は何度も力説してきたが、これ

はクジラだけの問題ではない。日本の外交力そのものが試されていると思うのである。

日本の外交に哲学があるのか。正しいと思うルール作りに、どんな努力も惜しまない覚悟があるのか。そしてその戦略を持っているのか。

このどれが欠けても成就しえない捕鯨問題は、まさに外交の試金石ではないのか。

●当り前の筋、ルールを！

アフリカ諸国、大洋州諸国、カリブ海の諸国、どの国々も、鯨類に限らず、生物資源の持続的活用が国の発展に欠かせない条件になっている。ニュージーニアのある女性代表は、オーストラリア代表に「こんなに経済援助をしてやったのに何だ、その態度は」と説得（脅迫）されるので、開会までずっと女性トイレに隠れていたと話してくれた。

カリブのある代表は、総会で10分以上の大演説。思わず会場から拍手が湧き上がったほどである。

アフリカ諸国は、欧米の基準の押し付けはもういらぬ。私たちは結束こそ命だとはかりに、クジラを見たことがなくても、変わらず支持を表明してくれ、何かあるたびに会場で手を挙げて応援の発言をしてくれる。こうした心で、志でつながった絆を、欧米諸国は理解したくないのである。だから日本が票を買収している」と批判する。

しかし、水産にかかわる各国の代

表者は、日本からのODAがあるからというだけで、日本の立場を支持しているのではない。世界の生物資源の持続的活用という当たり前のルール——わかりやすく言うところ、世界の海洋資源はどこかの国が取りつくしてしまおうのではなく、持続的に利用できる範囲でルールを決めてやりましようという、当たり前の筋——を通していただけないのである。

日本外交に、これほどわかりやすい哲学の提示ができたことがあったらどうか。

また、このように当たり前の主張だから、味方を作りやすいはずである。それなのになぜ「勝つ」ための努力をしてこなかったのか。

反捕鯨でガチガチのブラジルは、総会の中に自国近くに捕鯨禁止区域（サンクチュアリ）を設定しようとして、本国から反捕鯨国に外交ルートを通じてたくさん働きかけをしていたという。

日本はなぜしないのか。日本の外交力はブラジルにも劣るのか。

最近になって、われわれ捕鯨議員連盟で、外国首脳に捕鯨理解のための親書を送る運動を始めてわかったことだが、これまで日本にたくさんのお客が来ているにも関わらず、「捕鯨も頼みますよ」と、なぜ一言も言わずに来たのか。

アララの神の恵みとしてクジラを捕食することには抵抗のないアラブ諸国は、欧米のやり方に不満を持つところも多い。なぜそれらの国々と

手を結ぼうと働きかけをしてこなかったのか。われわれの運動で9月から自民党本部の食堂に初めてクジラのメニューが登場した。そして10月には外務省の食堂にも置くことになったそう。それはそれで努力は認めるが、そんな内向きの「言い訳」だけでなく、外国に対して堂々と正論を示してほしい。

●破綻している論理の押し付け

相手方の理屈も破綻している。

反捕鯨のアメリカでは、アラスカの原住民が、今日たたいまも捕鯨をしている。これを先住民捕鯨として「限定的」に認めてきたという。だが大量にとることはよくない、というのなら、なぜ日本近海で年間たった17頭をとっている日本の主張を認めないのか。

一方ではデンマークに属するグリーンランドの「先住民」捕鯨は認めたことを、どれだけの国民がご存知だろうか。

これは断じて勝てる戦いであるし、勝たねばならない戦いであると思う。そして戦略を言うなら、もし負けても鯨肉が食べられなくなるだけで、さらに言うところ、外交の中心問題ならともかく、このことで経済制裁を受けたら戦争が起きたりすることはない。オーストラリア大使でさえ、これが二国間関係に影響することはないと言っている。むしろ日本は欧米の価値観の押し付けに対して最後まで戦った国として称賛を浴び、ほか



鶴保庸介先生は、現在、自民党観光立国調査会事務局長、参議院自民党政審会長等々のご要職にあつて、獅子奮迅のご活躍中です。
私は、先生が国土交通大臣政務官、副大臣の時を含めて、長い間親しくご指導をいただいています。
今は民間人として、公職時代より

寄稿

鶴保庸介先生へのエール

の交渉でも一目を置かれる存在になるに違いない。

●戦うための大義と条件

ここはやはり戦うべきだ。ただし「勝つ」ためには一つだけ条件がある。それは日本が、日本人が、その意思でまとまることだ。「クジラなんてもう食べなくても……」という声が多数を占めるようになっては戦うことができない。戦うには大義が必要である。食べたいと思っていないものを無理に捕食するなんて理屈が通るわけがない。

この点、シーシェパードのせいで負担が大きくなる一方になっている南水洋まで捕鯨にいかなくても、と

いう指摘にも反論しておきたい。南水洋は撤退するが、ほかの公海で捕鯨を続けるとしたらそれはいかなる大義か、と。

反捕鯨国は、クジラが減っていると称して世界的に捕鯨を規制しようとしてきた。この流れからすると当然公海上の捕鯨は規制してくるであろう。南水洋の鯨類資源とは、とりもなおさず太平洋を回遊している鯨類のことであり、それは同じものとも言える。となれば反捕鯨国の出方は火を見るより明らかである。

かりに日本の沿岸でごく少数を取る方法なら認められる可能性があるとしても、これでは調査の所期の目的は果たせない。クジラは回遊種で、

日本近海に來遊するものが世界のどの地域で生息していたものかを調査できなければ資源量を計ることもできないからである。

さらにIWCを脱退するようなことも、条約上で南水洋での調査ができなくなるのと同じである。

要するに、「鯨類資源の持続的活用」という大義を本当に通そうとするなら、南極海での捕鯨を徹底的に主張し、争うことである。それでもダメなら沿岸のみで当てずっぽうの少量を取る、こういった方法しかないのではないか。

こういう構図が多く日本人にはわかってもらえていない。

こんなことを感じながら帰国途上。

日本通運(株) 執行役員(前観光庁長官) 井手 憲文

も率直に、筆を進めることができません。鶴保先生が政治家としてはるかな高みまで飛翔していただけると確信している逸話を三点、ご披露させていただきます。

第一は、人情の深さです。国家公務員は頻繁に人事異動がありますが、何回もの異動をよく覚えておられ、栄転時はまるでご自身の人事のように喜んでいただいたことがとても印象に残っています。先生には何度も酒席に招いていただきましたが、上司と部下という関係を超えて、魂の対話ができる方でありました。

第二は、卓越した政策企画力です。

国土交通省の政策課長時代にお仕えた鶴保大臣政務官は、職業公務員の政策立案力をはるかに凌ぐ、大所高所からの企画力をお持ちでした。しかも、それを命令口調で指示するのではなく、あのソフトな語り口で話されるので、部下たちは喜んで、政務官が主唱されたポイントの細部の作業に勤しむことができたのです。

第三は、突破できる交渉力です。観光庁長官時代にお仕えた鶴保副大臣の力がなければ、平成25年の史上初めての訪日外国人客1000万人達成は、絶対になかったと思います。

そういえばIWCの主催地だったスロベニアもユーゴから独立した国だったな、独立は決して遠い他人の話ではない気がする。

信頼のおける日経新聞のコラム「春秋」には頷かされることが多いのだが、今回(9月18日付)の、南極海に固執するより沿岸捕鯨の拡充を、という主張はいただけない。

本当に必要なのは、今国際世論がどんな風に流れていて、日本がどのような立場にいるのかを正確に伝えることだ。

等身大の日本を知るためにも大変有意義な経験をさせてもらったと思っている。

この達成のための諸施策の中でも、東南アジアからの訪日客のビザの免除や緩和は、即効性の高いものでした。副大臣自らが、外務省、法務省、警察庁のハイレベルに働きかけ、交渉されたご功績は、副大臣が作られた紅白の「一千万じゅう」とともに、長く後世に残るものです。

鶴は、高く、長く、しかも優雅に飛翔していきます、他のどの鳥よりも。

私は、前職の仕事で多くの国会議員と関係させていただきましたが、霞ヶ関の世界を離れた今、より客観的な目で見て、そう思っています。

国会報告

実体経済は？消費税の影響は？ 参院財政金融委員会で視察

鶴保議員は、参議院財政金融委員会理事として、アベノミクスによる経済再生の進捗状況や税制改正の影響などを、生産や生活の現場にも足を運び、幅広く情報・意見を収集し、それらを国政に反映させる活動を行っています。その一端を紹介します。

大田区の工場や 日銀本店へ

消費税の8%引き上げ直後の4月24日、財政金融委員会では「税制お

よび金融等に関する実情調査」のために都内3カ所を視察しました。

最初はものづくりの現場、大田区の三益工業を訪問。同社は航空宇宙機器や新幹線車両などに使われる重要な保安部品を製造する会社で、空洞化などで厳しい状況にある同地域にあつて、技術力で高い評価を得て輝いている中小企業の一社です。

午後には、アベノミクスの「第一の矢」を推し進めている日本銀行本店で、黒田東彦総裁や審議委員と金

融政策・経済政策について意見交換。

黒田総裁はじめ日銀幹部とは委員会でも議論が続いています（日銀視察はロイターでも配信されました）。

日銀の後には、がらり変わって「おばあちゃんの原宿」として知られる巣鴨の地蔵通り商店街（豊島区）を訪ね、商店街振興組合の説明を受けた後、買物客のみなさんから話を伺いました。消費税増税には厳しい反応が多く、それだけに視察メンバーも参院の特性を生かして、その使い



三益工業（上）日銀本店（中）振興組合の木崎理事長や新藤副理事長にも案内されて巣鴨地蔵通り商店街を視察（下）

鶴保議員の 活動日誌

三月

- 1日 県連代表役員会、県連「和歌山市長選・選対会議」、日高町夕エを食べる会
- 2日 親友会の皆様と猪狩り
- 3日 地元挨拶まわり
- 4日 雇用問題調査会過労死等防止に関するワーキングチーム、鳥獣議連関係者との打合せ
- 5日 昼食会、鳥獣議連インナー勉強会
- 6日 環境部会・鳥獣議連合同会議、日本・ベトナム友好議連役員とベトナム共産党中央委員会候補生との意見交換会、モンゴル経済関係議員団との懇談会
- 7日 インバウンド観光シンポジウム「パネルディスカッション」@神戸
- 8日 観光立国調査会、本会議、財政金融委員会理事懇談会
- 9日 野原隆正「福岡県議会警察常任委員会委員長就任祝賀会」
- 10日 財政金融委員会、東日本大震災3周年追悼式
- 11日 国土強靱化総合調査会、本会議、消費者特委員会、小野田寛郎さんお別れ会、水産基本政策小委員会、ユスロン駐日インドネシア大使歓迎会
- 12日 財政金融委員会、日本自動車整備政治連盟懇親会、ミラー駐日オーストラリア大使との懇談会
- 13日 全日本不動産協会関係議連立ち上げ打合せ
- 14日 国道42号田辺西バイパス開通式&意見交換会、紀州みなべ梅干協同組合の方々と懇親会、県病院協会第72回通常総会懇親会
- 15日 地元挨拶まわり
- 16日 財政金融委員会、ベナン大使表敬
- 17日 サンベトナム国家主席歓迎朝食会、財政金融委員会
- 18日 雇用問題調査会過労死等防止に関するワーキングチーム
- 19日 観光立国調査会、超人大陸インタビュー取材、財政金融委員会、本会議
- 20日 サッカー連盟の方々と懇親会
- 21日 和歌山東漁協「串本地区農林水産物集出荷貯蔵施設」竣工式、一般国道168号「日足道路」開通式典、古座川町国政報告会
- 22日

方をしっかりと監視する必要性を痛感しているようでした。

新潟で地方経済の 実情調査

6月12日と13日、財政金融委員会は、「地方経済・金融情勢等に関する実情調査」で新潟県を視察。

まず、地元金融機関との懇談で、消費税引き上げによる経済状況の変化等の説明を受け、続いて地元中小企業団体代表が現況報告、そして人材確保や賃金問題、法人税率の引き下げ等に関して意見交換しました。

そのあと災害時の救援物資としても活躍した『サトウのごはん』で知られる佐藤食品工業の東港食品工場を視察。市場ニーズの変化に対応した商品開発により年々売上げを伸ばしているとのこと。ただ、佐藤社長



から、人材不足や電気料金高騰の影響への懸念なども伺いました。

【鶴保のひとこと】 各所で多岐にわ

鶴保議員、参院政審会長に

参議院自民党は9月16日、鶴保議員を政審会長に起用する執行部人事を決定しました。任期は来年9月15日までの1年間。ほかに新設副会長に岩城光英氏、幹事長に伊達忠一氏、国対委員長に吉田博美氏の起用が決まりました。

この人事を受けて、鶴保事務所では、鶴保議員のブログ「ようすけのひとりごと」で「お知らせ」を、それを再録させていただきます。

「今回の内閣改造に伴う党人事で、鶴保庸介は参院自民の政審会長（政策審議会議長）を仰せつかることとなりました。政審会長とは会長・幹事長・国対委員長

たる貴重な意見を伺い、実体経済回復への第三の矢の実行が急務であることを再認識しました。

と並ぶ参議院自民党独自の役職で、党として参議院に提出する法案の責任者とも言える立場になります。

鶴保庸介本人は現在、IWC（国際捕鯨委員会）の総会に出席するためにスロベニアに出張しております。先日からの報道にもありますように、日本の調査捕鯨については厳しい議論が繰り広げられていますが、しっかりと我が国の立場を主張してまいり、また後日この稿でもご報告させて頂くことになるかと思

います。今後とも皆様方のご支援・ご指導を宜しくお願い申し上げます」

地元金融界・中小企業団体と懇談（上）
佐藤食品の工場の見学も（下）



●時代に合った法改正に尽力

参議院財政金融委員会は第186回国会（1月24日～6月22日）で計12回の委員会を開き、鶴保理事らの尽力により、「関税率法及び関税暫定措置法の一部を改正する法律案」、インターネットを通じて多数の者から少額ずつ資金を集める仕組み（クラウドファンディング）を扱う業者に対する規制整備を盛り込んだ「金融商品取引法等の一部を改正する法律案」、保険募集に係る規制を昨今の実態に即したものにす

る「保険業法等の一部を改正する法律案」などを可決、本会議で成立させました。

23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	四月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
地元挨拶まわり	日本柔道整復師連盟「第1回全国都道府県推薦委員会」、財政金融委員会	国土強靱化総合調査会、本会議、水産基本政策小委員会、日華議員懇談会総会	財政金融委員会、自転車活用推進議員フロジェクトチームの提言についての打合せ、観光立国調査懇談会	本会議、近畿運輸局との懇談会	県立和医大付属病院東棟竣工式、紀州フアスナーテクノ株式会社記念祝賀会	不動産鑑定士協会役員との懇談会	国道42号京奈和自動車道紀北東道路「紀北かつらぎIC」の川IC間」開通式	観光立国調査会ニセコ視察	観光立国調査会ニセコ視察、本会議、お花見会	観光立国調査会	本会議、捕鯨連総会、松山まさじ君を励ます会	捕鯨連・安倍総理への申入れ、水産部会への申入れ	本会議、週刊文春・捕鯨に関するインタビュー取材	第27回百合山新四国花祭り、和歌山城桜を見る会、アドバン工業45周年記念式典	第9回紀の川市桃源郷ハーフマラソン開会式、ピンクリボンサイクリング3000の川開会式、サイクリング関係者との昼食会、第7回橋本市高野口公園桜まつり記念式典	地元挨拶まわり	捕鯨連拡大役員会、鈴木俊一君を激励する会	選挙対策委員会幹部会、本会議、ユスロイン駐日インドネシア大使他との昼食会、水産政策推進議員協議会総会、国民生活のためのテレ脱却及び財政再建に関する調査会	雇用問題調査会、国土強靱化総合調査会、与党閣議連総会、水産部会	本会議、観光立国調査会、捕鯨連幹部打合せ、鶴保庸介君と明日の日本を語る会	県ハンドボール協会定例総会、党郵政政治連盟和歌山支部「藤井聡内閣官房参与講演会」終了後の懇親会、後援会の方々とこのボーリング大会	県武術太極拳連盟定期総会、第30回県連

国会報告

政策研究&推進

観光先進地のニセコで懇談

国交副大臣のときに訪日外国人旅行者の1000万人達成に尽力した鶴保議員は、その後、自民党の観光立国調査会事務局長としてさらに旅行者拡大の政策をさぐり、進めています。

3月30日、同調査会の山本幸三会長らとともにニセコスキー場の賑わいとペンション増加で地価上昇率の高さで話題の倶知安町を訪ね、観光

捕鯨議連、安倍首相に申し入れ

鶴保議員ら自民党捕鯨議連（鈴木俊一会長）のメンバーは、4月3日、安倍晋二首相と官邸で面会し、3月



協会の本田哲会長らと懇談しました（翌4月1日正午に本部で調査会を開き、現地報告も行われました）。

ニセコは、四季が逆になる南半球のオーストラリアからの観光客が口コミなどによって押し寄せ、資本も多く投下されています。まさに外国に扉を開いた先進観光地ですが、それでも多く抱えているという問題、課題を伺ってきました。

31日に国際司法裁判所が、南極海での日本の調査捕鯨を国際捕鯨取締条約違反として中止判決を下したのに対し、今後捕鯨政策を強力に推進するように求める議連の決議（鯨類捕獲調査事業の再構築等に関する決議）を手渡しました。

首相は「判決は大変残念で、深く失望している。よく判決を精査しながら対応する」と応じました（鶴保議員が巻頭で記しているように、その後、9月にスロベニアで開かれたIWC総会でも、日本に厳しい決議

が出されています）。

獣保護管理法が成立！

さあ、次のステップに

鶴保議員が法案成立に向けてリーダーシップを取ってきた「鳥獣保護管理法」が5月23日に成立しました。

「保護」に片寄り、実情にまったく合わなくなっていた「鳥獣保護法」を改め、特定の鳥獣は「管理」をする方向に切り替えるのが今回の管理法で、捕獲規制の緩和や免許制度の改正などが盛り込まれました。

野生動物による農林業の被害は甚大で、鶴保議員らの長年の努力により管理法が実現しましたが、大きな一歩とはいえ、これはあくまでも第一歩にすぎません。課題は山積しています。

管理法成立に中心的な役割を果たしてきた自民党の鳥獣捕獲緊急対策議員連盟では8月27日の総会で、銃刀法改正の方針が了承されました。狩猟の担い手の育成が次の大きな課題です。総会では鳥獣関係の概算要求や狩猟税の説明と質疑も行われました。これからは「管理」の実と質が問われることになります。

大会

山本幸三君を励ます会

鳥獣捕獲緊急対策議員連盟、第26回捕鯨の伝統と食文化を守る会、青葉会、BS

日本テレ「深層ニュース」生出演

本会議、雇用問題調査会、国民生活のためのデフレ脱却及び財政再建に関する調査会、捕鯨議連インナー勉強会

捕鯨議連総会、捕鯨議連・菅官房長官への申入れ、放送アーカイブ議連設立打合せ、タクシー問題打合せ

本会議、文藝春秋・捕鯨に関するインタビュー取材、捕鯨議連役員会

県社会人サッカー連盟総会、ラフェスタサッカー・アルテリ・ヴォオ和歌山vsアミティスSC京都応援

捕鯨議連総会、捕鯨議連・菅官房長官への申入れ、放送アーカイブ議連設立打合せ、タクシー問題打合せ

本会議、文藝春秋・捕鯨に関するインタビュー取材、捕鯨議連役員会

県社会人サッカー連盟総会、ラフェスタサッカー・アルテリ・ヴォオ和歌山vsアミティスSC京都応援

捕鯨議連総会、捕鯨議連・菅官房長官への申入れ、放送アーカイブ議連設立打合せ、タクシー問題打合せ

本会議、文藝春秋・捕鯨に関するインタビュー取材、捕鯨議連役員会

県社会人サッカー連盟総会、ラフェスタサッカー・アルテリ・ヴォオ和歌山vsアミティスSC京都応援

捕鯨議連総会、捕鯨議連・菅官房長官への申入れ、放送アーカイブ議連設立打合せ、タクシー問題打合せ

本会議、文藝春秋・捕鯨に関するインタビュー取材、捕鯨議連役員会

県社会人サッカー連盟総会、ラフェスタサッカー・アルテリ・ヴォオ和歌山vsアミティスSC京都応援

捕鯨議連総会、捕鯨議連・菅官房長官への申入れ、放送アーカイブ議連設立打合せ、タクシー問題打合せ

本会議、文藝春秋・捕鯨に関するインタビュー取材、捕鯨議連役員会

県社会人サッカー連盟総会、ラフェスタサッカー・アルテリ・ヴォオ和歌山vsアミティスSC京都応援

捕鯨議連総会、捕鯨議連・菅官房長官への申入れ、放送アーカイブ議連設立打合せ、タクシー問題打合せ

本会議、文藝春秋・捕鯨に関するインタビュー取材、捕鯨議連役員会

県社会人サッカー連盟総会、ラフェスタサッカー・アルテリ・ヴォオ和歌山vsアミティスSC京都応援

捕鯨議連総会、捕鯨議連・菅官房長官への申入れ、放送アーカイブ議連設立打合せ、タクシー問題打合せ

本会議、文藝春秋・捕鯨に関するインタビュー取材、捕鯨議連役員会

県社会人サッカー連盟総会、ラフェスタサッカー・アルテリ・ヴォオ和歌山vsアミティスSC京都応援

捕鯨議連総会、捕鯨議連・菅官房長官への申入れ、放送アーカイブ議連設立打合せ、タクシー問題打合せ

本会議、文藝春秋・捕鯨に関するインタビュー取材、捕鯨議連役員会

県社会人サッカー連盟総会、ラフェスタサッカー・アルテリ・ヴォオ和歌山vsアミティスSC京都応援

捕鯨議連総会、捕鯨議連・菅官房長官への申入れ、放送アーカイブ議連設立打合せ、タクシー問題打合せ

本会議、文藝春秋・捕鯨に関するインタビュー取材、捕鯨議連役員会

県社会人サッカー連盟総会、ラフェスタサッカー・アルテリ・ヴォオ和歌山vsアミティスSC京都応援

捕鯨議連総会、捕鯨議連・菅官房長官への申入れ、放送アーカイブ議連設立打合せ、タクシー問題打合せ

本会議、文藝春秋・捕鯨に関するインタビュー取材、捕鯨議連役員会

県社会人サッカー連盟総会、ラフェスタサッカー・アルテリ・ヴォオ和歌山vsアミティスSC京都応援

捕鯨議連総会、捕鯨議連・菅官房長官への申入れ、放送アーカイブ議連設立打合せ、タクシー問題打合せ

本会議、文藝春秋・捕鯨に関するインタビュー取材、捕鯨議連役員会

県社会人サッカー連盟総会、ラフェスタサッカー・アルテリ・ヴォオ和歌山vsアミティスSC京都応援

捕鯨議連総会、捕鯨議連・菅官房長官への申入れ、放送アーカイブ議連設立打合せ、タクシー問題打合せ

本会議、文藝春秋・捕鯨に関するインタビュー取材、捕鯨議連役員会

県社会人サッカー連盟総会、ラフェスタサッカー・アルテリ・ヴォオ和歌山vsアミティスSC京都応援

捕鯨議連総会、捕鯨議連・菅官房長官への申入れ、放送アーカイブ議連設立打合せ、タクシー問題打合せ

本会議、文藝春秋・捕鯨に関するインタビュー取材、捕鯨議連役員会

県社会人サッカー連盟総会、ラフェスタサッカー・アルテリ・ヴォオ和歌山vsアミティスSC京都応援

捕鯨議連総会、捕鯨議連・菅官房長官への申入れ、放送アーカイブ議連設立打合せ、タクシー問題打合せ

本会議、文藝春秋・捕鯨に関するインタビュー取材、捕鯨議連役員会

県社会人サッカー連盟総会、ラフェスタサッカー・アルテリ・ヴォオ和歌山vsアミティスSC京都応援

捕鯨議連総会、捕鯨議連・菅官房長官への申入れ、放送アーカイブ議連設立打合せ、タクシー問題打合せ

本会議、文藝春秋・捕鯨に関するインタビュー取材、捕鯨議連役員会

県社会人サッカー連盟総会、ラフェスタサッカー・アルテリ・ヴォオ和歌山vsアミティスSC京都応援

捕鯨議連総会、捕鯨議連・菅官房長官への申入れ、放送アーカイブ議連設立打合せ、タクシー問題打合せ

本会議、文藝春秋・捕鯨に関するインタビュー取材、捕鯨議連役員会

県社会人サッカー連盟総会、ラフェスタサッカー・アルテリ・ヴォオ和歌山vsアミティスSC京都応援

捕鯨議連総会、捕鯨議連・菅官房長官への申入れ、放送アーカイブ議連設立打合せ、タクシー問題打合せ

本会議、文藝春秋・捕鯨に関するインタビュー取材、捕鯨議連役員会

県社会人サッカー連盟総会、ラフェスタサッカー・アルテリ・ヴォオ和歌山vsアミティスSC京都応援

捕鯨議連総会、捕鯨議連・菅官房長官への申入れ、放送アーカイブ議連設立打合せ、タクシー問題打合せ

本会議、文藝春秋・捕鯨に関するインタビュー取材、捕鯨議連役員会

県社会人サッカー連盟総会、ラフェスタサッカー・アルテリ・ヴォオ和歌山vsアミティスSC京都応援

「志帥会」

夏季研修会

8月25・26の両日、山梨県で開かれた所属の「志帥会」の夏季研修会に参加しました。

初日は日蓮宗総本山の久遠寺参拝後、早川町の西山温泉の慶雲館という老舗旅館に講師を招いての研修で、西防衛事務次官による「日本、中国、ロシアの防衛事情」、西川荒川区長による荒川区政、横内山梨県知事の「山梨県の取り組みと実情」の講演をしていただきました。

2日目は、元衆議院議員で政策集団の元の仲間でもある日本体育大学の松浪健四郎理事長と政治評論家の



森田実さんに講演をしていただきました。

同日、山梨大学の「燃料電池ナノ材料研究センター」を見学し、燃料電池の開発の現状など説明も受けるなど、有意義な研修になりました。

ベトナム・
サン国家主席歓迎

3月にベトナム社会主義共和国チュオン・タン・サン国家主席が来日しました。ベトナムからの国賓来日は2007年のチェット国家主席以来2人目で、同月17日には天皇皇后陛下主催の宮中晩餐会が開かれました。

その翌18日、鶴保議員は、日本ベ



二階会長とサン・ベトナム国家主席を囲んで

トナム友好議員連盟が、国家主席夫妻一行を招いて都内のホテルで開いた歓迎朝食会に出席しました。

会では二階俊博連会長、サン国家主席の挨拶、山口公明党代表など各党代表の挨拶のあと、本誌に投稿していただいたこともある杉良太郎日越特別大使の乾杯で懇談に入りました。サン国家主席は同日昼から衆議院本会議場で国会演説を行い、夕方には総理官邸で安倍首相と日越首脳会談と共同記者会見を行いました。

さらにインドネシアと友好を
ユスロン駐日大使を歓迎

3月12日、日本インドネシア友好議員連盟が開いた新任の駐日インドネシア共和国のユスロン・イザ・マヘンドラ大使ご夫妻の歓迎会に出席。大使は、筑波大学で博士号を取得するなど日本滞在経験のある日本語も非常に堪能な方です。

鶴保議員は4月9日には大使らとの昼食会にも出席して懇談しました。大使は両国の親善、交流に大いに力を発揮されることでしょう。

15日	友好議連総会、財政金融委員会理事懇談会
16日	財政金融委員会、水産部会
17日	本会議、選挙対策委員会「選挙必勝塾」打合せ会、第17回組込みシステム開発技術展、南口清二展、全日本不動産政策推進議連打合せ会&役員懇談会
18日	支援者ご子息結婚披露宴、青年部ゴルフコンペ表彰式
19日	サッカー・アルテリ・ヴォオ和歌山V.S.阪南大クラブ
20日	選挙制度に関する年次別ヒアリング、自転車活用推進議連プロジェクトチームと第二東京弁護士会との意見交換会
21日	21世紀人権政策懇話会朝食会、財政金融委員会、土地家屋調査士制度改革推進議連総会
22日	内閣部会・法務部会・外交部会・観光立国調査会合同打合せ会、本会議、消費者問題に関する特別委員会、全国賃貸住宅経営者政治連盟と語るタベ
23日	本会議、消費者問題に関する特別委員会、捕鯨御礼の会
24日	新鶴会の会合
25日	地元挨拶まわり
26日	(一社)日本建設機械レンタル協会第2回通常総会
27日	国民歯科問題議連総会、第二版和国道・京奈和自動車道・太平洋新国土軸建設促進議連意見交換会
28日	本会議、全国半島振興町村協議会総会、全国治水砂防協会和歌山県支部主催の昼食会、消費者問題に関する特別委員会、大日本猟友会第76回通常総会
29日	捕鯨議連拡大役員会、東洋経済・漁業関係に関するインタビュー取材、鳥獣議連・銃刀法勉強会、第1回「選挙必勝塾」開講式、フェローフォーラム勉強会
30日	本会議、財務省との勉強会
31日	サッカー・アルテリ・ヴォオ和歌山V.S.バンテイオンセ加古川
六月一日	おばな正啓事務所開き、第16回TOUR de熊野第3ステージ「太地町・太地半島周回コース」
二日	地元挨拶まわり
三日	自動車活用推進議連・業界団体との意見交換会



安心して暮らせる地域に

第2次安倍改造内閣では、地方の人口減少問題を内政の主要課題ととらえて「地方創生」の新組織を発足させたことは、ご承知のとおりです。

鶴保議員は、すでに地方の再生を重要課題として取り組んできましたが、さらに注意深く地域の声を聞き、加速度をつけて取り組んでいきます。

土砂災害対策研究機構設立シンポジウムでアピール

地方の復権のためにも、安心して暮らせる地域であることが不可欠ですが、残念ながら、昨今の台風や豪雨のあとの罹災状況などを見るまでもなく、対策は全国的に未だし、であるのが実情です。

紀伊半島も平成23年の台風12号に



起因する大規模土砂災害によって甚大な被害を受けました。

このような災害にかかわる建設技術の研究や危機管理対策などを推進するために、7月21日、国交省の「大規模土砂災害対策研究機構」設立シンポジウムが、那智勝浦町の体育文化会館で開かれ、鶴保議員も来賓として出席して祝辞を述べるとともに、災害対策、国土強靱化の持論をアピールしました。

国交省では4月1日にすでに近畿地方整備局に「大規模土砂災害対策技術センター」を設置し、紀伊山地砂防事務所に拠点を置いて活動を始めていますが、その円滑運営には、情報と知識をより広く集める必要があるために関係機関との連携や協力を図る同機構が構想されました。構

成機関は、北海道大、三重大、京都大、和歌山大、国土技術政策総合研究所、土木研究所と近畿地方整備局、和歌山県、那智勝浦町です。

その活動は、災害対策技術だけでなく、危険度の把握、実効的な避難対策の手法などまで含む総合的な対策の研究です。会には関係市町村や大学や諸機関などから2000人以上の人が訪れ、新たな有効対策の確立に期待を寄せていました。

UMEを世界に！

梅振興議員連盟

梅干しは災害時の優れた食材としても見直されています。その梅産業の振興のために国会議員が超党派でつくる「梅振興議員連盟」の総会が6月11日、衆議院第二議員会館であり、鶴保議員も参加。この日は梅産地や加工業の関係者、さらに大産地の和歌山県みなべ町の小谷芳正町長らも出席して挨拶をしました。

総会では、①生育技術等への支援措置②食糧備蓄に梅干を加えるよう推進③梅の機能性を科学的に証明して消費拡大④梅酒の表示基準の策定⑤「UME」を世界共通語として広める⑥学校給食にも梅を！の6項目の決議案を採択しました。総会後、梅酒の試飲なども行われました。

4日	本会議、半島振興特別委員会、消費者問題に関する特別委員会、水産政策推進議員協議会総会、遠図会
5日	平成27年度和歌山県政府提案・要望に係る説明会、大島理森水産政策推進議員協議会会長と全国町村水産業協議会との意見交換会
6日	国土強靱化総合調査会、本会議
7日	おはな正啓集会
8日	海南市市政報告会
9日	地元挨拶まわり
10日	捕鯨議連総会、住宅土地・都市政策調査会中古住宅市場活性化小委員会インナー勉強会、組み込みイノベーション議連第1回勉強会、(公財)タカタ財団第5回助成研究報告会
11日	本会議、デフレ脱却及び財政再建に関する調査会、鳥獣議連・特措法延長案の打合せ、水産部会、梅振興議連総会(公社)日本観光振興協会平成26年度通常総会情報交換会
12日	財政金融委員会新潟県視察、国交省和歌山県人会懇親会
13日	ガールズケイリン推進議連設立総会、本会議、日米国会議員連盟総会
14日	和歌山市障害児者父母の会結成50周年記念式典・祝賀会、蜷の里薄木神社夜宮祭り
15日	県防衛協会総会後の懇親会
16日	おはな正啓さんを応援する会
17日	水産部会、ハンドボール議連総会
18日	本会議、超人大陸インタビュー取材、政策委員会、住宅対策促進議連総会、放送アカリフ議連発起人会、水産政策推進議員協議会総会
19日	観光立国調査会、財政金融委員会、鳥獣捕獲緊急対策議連総会
20日	下水道・浄化槽特別委員会、スポーツ議連総会、財政金融委員会、消費者問題に関する特別委員会、国民生活のためのデフレ脱却及び財政再建に関する調査会、本会議
21日	日本ハンドボール協会第1回評議員会
22日	地元挨拶まわり
23日	老朽化マンション対策会議懇親会
24日	地元挨拶まわり
25日	地元挨拶まわり
26日	観光関係勉強会
27日	青葉会オフ会
28日	地元挨拶まわり
29日	地元挨拶まわり
30日	関西後援会・鶴保を囲む会

健康と災害備蓄をキーワードに、ぜひ、消費拡大を！
(写真1下右)

潮岬に

新休憩所オープン

まず、クイズです。

「本州の最南端はどこでしょう？」
答えは、和歌山県の潮岬（串本町）です。その望楼の芝に環境省が「本州最南端 潮風の休憩所」を建設し、7月20日、オープニングセレモニーでテープカットを行いました。

休憩所は、鉄筋コンクリート造りの平屋。太平洋を眺めながらくつろげる展望・休憩テラスなどがあり、展示スペースには本州最南端の特徴ある串本の海、潮岬や周辺の大地（ジオサイト）のパネルや、明治から昭和にかけて、高級ボタンなどの材料にするために串本町出身者らがオーストラリア北部の木曜島を中心に行っていた白蝶貝の採取事業に関する多数の資料（貝殻、ダイバースーツなど）も展示されています。

地域の自然、文化、歴史を発信する新しい拠点の誕生です。（下中）

海保の巡視船「きい」

就役披露

災害対応能力が強化された和歌山海上保安部所属の1000トン型巡



視船「きい」の就役披露式が、8月18日、和歌山市のホテルアパローム紀の国で開かれ、元運輸大臣でもある二階俊博先生や仁坂知事らとともに出席して祝辞を。式典後、7月末に就役して和歌山港に係留している「きい」の船内見学会が開かれ、海上保安官から説明を受けました。

新造巡視船「きい」は、たとえば南海トラフ巨大地震のような大規模災害の際、積載している小型船をクレーンで下ろして使うなど、従来の巡視船以上に、海側からの救助に威力を発揮します。さらに一般の巡視船の役割以外に「警備実施等強化巡視船」にも指定されています。

海の安全を守る活躍を期待します。

和歌山県の

提案・要望を受け

6月5日、東京のホテルニューオータニで、「平成27年度国の施策及び予算に関する和歌山県の提案・要望に係る説明会」が開かれました。県からは、仁坂知事が、行財政基盤の強化、地震・津波対策、風水害対策、公共インフラの充実等、全47項目の説明があり、鶴保護員ら参加国会議員は、それらの施策が確実に実行できるように政府に働きかけていくことを確認しました。（上左）

七月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	選挙対策委員会打合せ	住宅産業新聞社インタビュー取材、根来鉄砲隊国会見学懇親会	財政金融委員会懇親会	おばな正啓決起集会	地元挨拶まわり	紀美野町国政報告会	提破会	(一社) 亜東親善協会理事会	まぐろ・かつお漁業推進協議会	鳥獣議連・銃刀法勉強会	鳥獣議連・銃刀法勉強会	山形県村山市経営者懇話会での講演・懇親会	地元挨拶まわり	熊野那智大社例大祭	地元挨拶まわり	国交省関係者主催・鶴保護員に感謝する夕べ	自民党本部・関東ブロック幹事長事務局長会議	鳥獣議連・銃刀法勉強会	紀の川市大賀ハス観望会、森哲男氏旭日小綬章受章祝賀会	本州最南端潮風の休憩所オープニングセレモニー	国交省「大規模土砂災害対策研究機構」設立シンポジウム記念植樹式&シンポジウム、古座川町で鰻を食べる会	原田泳幸さん・多田憲之さんを囲む会	モンゴル国大統領と参院日本モンゴル友好議連との懇談会	自転車活用推進協議会プロジェクトチーム「自転車事業視察」、中古住宅市場活性化小委員会、鳥獣議連・銃刀法勉強会	下津町で「はもを食べる会」	和歌山ネットワーク輸送協同組合通常総会、田辺後援会懇談懇親会	新田賢先生瑞宝双光章受章記念祝賀会、橋本市国政報告会	地元挨拶まわり	水産拡大役員会、水産部会、半島振興特別委員会打合せ(公社) 日本医師会役員改選披露パーティー	捕鯨協議役員会、後援会夏季軽井沢合宿	後援会夏季軽井沢合宿

登下校の安全性を高め 災害時の緊急輸送も強化

安全や災害対策、産業・観光振興のためにも紀伊半島で遅れているインフラ整備が急務です。3月15日、半島をひとまわりする国道42号の田辺西バイパスの一部(田辺市稲成町

―芳養町1・6キロ)が開通、鶴保議員は式典でそれを強調しました。

国道42号は自転車歩行者道が未整備で、渋滞・事故が多く、バイパスは地元の長年の悲願でした。

3月22日には熊野川の氾濫、浸水で度々通行止めになる国道168号のバイパス日足道路(約2キロ)が

完成。安全確保に加え、災害時の緊急輸送の強化が図られました。

3月30日には和歌山と京都、奈良を結ぶ京奈和自動車道の紀北東道路(紀北かつらぎIC―紀の川IC)が開通、果樹産業や観光産業の活性化への寄与を期待して、開通式で祝辞を述べました。

寄稿 「地域を元気にする生衛業」

和歌山県生活衛生団体協議会 会長 中谷 進

和歌山県生活衛生団体協議会は、県内の飲食業・理容業・美容業・クリーニング業・興行・公衆浴場業・旅館ホテル業・食肉販売業の各生活衛生同業組合及びその組合員から構成される組織で、各営業における衛生設備及び衛生措置の改善向上に資することを目的に、昭和39年8月に設立されました。

私が当協議会の会長をお引き受けたのが、平成17年ですから、早いもので9年経ちました。

この間、0―157食中毒事件、

福祉理・美容の推進、新型インフル

エンザ発生、食材の偽装表示などの深刻な問題や大きな課題が次つぎに持ち上がりました。

これらは当協議会会員にとって重要であるだけでなく、消費者にとつても、身近で深刻な問題であることから、お客様にいち早く安心感を持つていただき、ひいてはそれを組合員の経営の安定化に繋げるために、当協議会では、行政と連携して、その対策と課題の推進に取り組んでまいりました。

平成23年の台風12号による紀伊半島大水害の際には、当協議会員の店舗も多数被災し、生活物資等を届けようにも、道路がいたるところで寸断され、発災当初は、十分な支援活動が出来ず、災害に強い道路整備の必要性を痛感しました。

それも鶴保国土交通副大臣(当時)のご尽力で、全国の交通網が加速度的に整備され、当県においても「命の道」が整備されつつあります。

当協議会は、この9月1日の防災の日、大規模災害が発生した際、避難所等において避難生活を余儀なくされる方々に対して、各構成組合ができる支援業務(理容・美容サービスの提供、旅館の入浴施設の開放、食事提供など)の提供に関して、和歌山県と協定を締結させていただきました。

生活衛生関係の営業は、公衆衛生の見地から、国民の日常生活に極めて関係の深いことから、鶴保先生には、常々ご指導いただいておりますが、今後とも、和歌山県のみならず日本における指導者として、益々のご活躍を祈念しています。

八月	後援会夏季幹事会	観光庁との懇親会
1日	後援会夏季幹事会	
2日	地元挨拶まわり	
3日	おはな正啓必勝祈願・出陣式・個人演説会、第11回紀州よさこい祭り高松演舞場開会式	
4日	地元挨拶まわり	
7日	和歌山市長選個人演説会	
8日	第19回ジャパンオープンハンドボールトーナメント開会式・レセプション、和歌山市長選個人演説会	
9日	角谷美千衣(社福)スマイル理事長就任をバンザイ	
11日	谷口博昭元国交事務次官のふるさと講演会	
11日	初盆まいり	
14日	T K C 南近畿和歌山支部「仁坂知事・鶴保議員と語る会」&懇親会	
15日	初盆まいり	
16日	下津ふるさと祭り	
17日	しが歯科医院25周年アニバーサリー、紀の川の「好きやっしょ紀の川」夢花火	
18日	市民まつりオープニングセレモニー J R 観光列車「ハローキティ和歌山号」試乗会、海上保安庁新造巡視船「きい」就役披露式	
19日	古座川町長・古座川道路協議会の方々と	
20日	の昼食会	
22日	太地町の捕鯨等に伴う違法事案対処合同警備訓練	
23日	第31回海南市婦人会作品展、野球大会の打ち上げパーティー	
24日	有田巨峰村オープニングセレモニー	
25日	志帥会・夏期山梨合宿	
26日	半島振興特別委員会、水産拡大役員会、中古住宅市場活性化小委員会打合せ	
27日	水産部会・水産政策協議会合同会議、日本・ネパール友好国会議連総会、第3回中古住宅市場活性化小委員会、柏市スマーティンテック視察	
28日	鳥獣捕獲緊急対策協議連総会、第3回自動車整備産業の将来展望に関する研究会、全不動産協議連打合せ、鳥獣協議連役員懇親会、飛鳥会	
29日	地元挨拶まわり	
30日	県老人福祉施設協議会臨時役員会	
31日		





**熱戦！
国体リハサル大会**

来年の「紀の国わかやま国体」(第70回国民体育大会)に向けた各競技のリハサル大会が県下各会場で行われていきます。鶴保議員が協会副会長(県協会会長)を務めるハンドボールは、8月9日から4日間にわたり、第19回ジャパンオープントーナメントが国体リハサル大会として、県立体育館など5会場で開催され、全国各ブロックの予選を勝ち抜いた男子32チーム、女子16チームが熱い戦いを展開しました。

鶴保議員は8月8日の開会式・レセプションで選手を激励し、運営に携わる審判員、近県の役員、自治体職員のみなさんにお礼を述べました。県ハンドボール協会ではその前、4月12日に定例総会を市立和歌山高校で開き、リハサル大会への備えも行いました。次はいよいよ本番です。

サッカーでも町の活性化を

4月19日、鶴保議員が顧問の和歌山県社会人サッカー連盟の総会が和歌山市の中央コミュニティセンターで開かれました。今年の大きなイベントは、国体のリハサル大会の「第50回全国社会人サッカー選手権大会」(9月26日)で、大会の成功に向け、役員のみなさんを激励。なお、和歌山ではJリーグ加盟をめざす当連盟出身の「アルテリヴォ和歌山」が関西リーグ1部で健闘しています。ホームスタジアムが紀三井寺運動公園陸上競技場と紀の川市桃源郷運動公園陸上競技場で、鶴保議員もしばしば足を運んで声援を送っています。チーム運営はNPO法人和歌山からJリーグチームをつくる会です。みなさんもぜひ応援を。



名所を結ぶカーレース

鶴保議員が支援・協力しているクラシックカーレース「ラ・フェスタ・プリマヴェーラ」(春の祭典)が今年も盛大に実施されました。出発は4月18日の名古屋市中で、三重、和歌山、奈良県、大阪府を巡り、22日に京都でゴールとなりました。

和歌山では同月20日(日)に日高地方に入り、鶴保議員も、そのチェックポイントで視察と応援。コースの市町村の協力もあり大盛況でした。今年の和歌山は「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録10周年、来年は国体に高野山開創1200年と大イベントが続く、県もさまざまな企画を展開しています。

ラリーは来年4月17日〜4月20日開催。すでに9月からエントリー受付が始まっています。みなさんも愛車で挑戦を！

**KONOIKEグループは、高い品質のサービスを提供し、
世界の人々の幸福と安全で安心な社会の実現に役立つ
プロフェッショナルサービス集団を目指します。**



鴻池運輸株式会社

Konoike Transport Co., Ltd.

本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町2-6-8 TEL 06-6271-4600(代表)

代表取締役社長 鴻池忠彦

■グループ会社
株式会社エコーベーション
風テック㈱
コウノイケ・エクスプレス㈱
コウノイケ・エンジニアリング㈱
千代田修業工業㈱
北都工業㈱
株式会社ア・サービス
島屋興産㈱
九州産交運輸㈱
株式会社運輸物流サービス
鴻池メディカル㈱
株式会社ランドサービス
株式会社カイ

株式会社グランドエクスパート
ケービーエス㈱
コウノイケ・エアポートサービス㈱
関西産運㈱
鴻池ロジスティクスネットワーク㈱
北花運輸㈱
株式会社和倉
日本空輸㈱
前川運輸㈱
コウノイケ・ワールドロジスティクス東北㈱
コウノイケ・ショッピング㈱
株式会社ニチラン
コウノイケ・ビジネスマネジメント㈱

KONOIKE-PACIFIC CALIFORNIA, INC.
KONOIKE TRANSPORT & ENGINEERING (USA), INC.
KONOIKE-GENERAL, INC.
KONOIKE-E STREET, INC.
KONOIKE MEXICO S.A. de C.V.
KONOIKE TRANSPORT & ENGINEERING (H.K.), LTD.
鴻池国際貨運(深圳)有限公司
青島鴻池鴻池物流有限公司
鴻池物流(上海)有限公司
鴻池至船運物流(江蘇)有限公司
PKI MANUFACTURING & TECHNOLOGY, INC.
PT. KONOIKE TRANSPORT INDONESIA
KONOIKE VINATRANS LOGISTICS CO., LTD.
ANPHA-AG JOINT STOCK COMPANY

VINAKO FORWARDING CO., LTD.
KONOIKE ASIA (CAMBODIA) CO., LTD.
KONOIKE TRANSPORT & ENGINEERING (S) PTE. LTD.
KONOIKE ASIA (THAILAND) CO., LTD.
KONOIKE COOL LOGISTICS (THAILAND) CO., LTD.
KONOIKE EXPRESS (THAILAND) CO., LTD.
KONOIKE-SOTUS VENTURE CO., LTD.
KONOIKE ASIA (MYANMAR) CO., LTD.
KONOIKE-EURO LOGISTICS (BANGLADESH) LTD.
KONOIKE ASIA (INDIA) PVT. LTD.
CARNA MEDICAL DATABASE PVT. LTD.



地域医療の担い手に感謝

鶴保議員は、和歌山県病院協会の第72回通常総会に続いて開かれた特別講演会・懇親会に出席し、地域医療を（日々）献身的に支えている皆さんに、感謝と激励の挨拶を行いました。

〈3・15 南紀白浜・コガノベイホテル〉①

産業振興への期待込め

御坊工業団地の紀州ファスナーテクノ（中江良一社長）の伸線工場棟を中心とする新工場が竣工し、鶴保議員は、そのお披露目に参加して新鋭工場を視察。

続いて開かれた同社設立記念披露

祝賀会で、地域産業の振興への期待を込め、仁坂知事らとともに祝辞を。

〈3・29 紀州南部

ロイヤルホテル〉②

串本漁港から全国に

和歌山東漁業協同組合の新たな集出荷貯蔵施設が串本漁港に完成、竣工式で祝辞を。

施設は水産物を高度な衛生管理のもとで全国に出荷する荷捌き所で、見学路や交流室、屋上には風力発電も設置され、津波避難タワーにもなっています。串本から全国に、安全で安心な水産物をどんどん届けてほしいものです。

〈3・22〉③

桃源郷をサイクリング

乳がん撲滅運動のために「早期検診」を訴えるピンクリボンサイクリングin紀の川も5回目。毎年桃の花と桜の花が満開の時期に開催されます。あいにくの悪天候の中、県サイクリング協会副会長として、粉河ふるさとセンター野外ステージの開会式での激励の後、雨の中を颯爽と。天候にはたたられたものの参加者230名中43%が女性というピンクリボンにふさわしい楽しいイベント

KIRII

株式会社 桐井製作所

確かな技術で創られた空間には安全・安心・美しさがある。

<http://www.kirii.co.jp/>

本社 〒100-0011 東京都千代田区千代田1-1-1 帝国ホテルタワー18F TEL: (03)3539-6000 FAX: (03)3539-6660



になりました。

来年は皆さんもどうぞ

〈4・6 紀の川市桃源郷〉④

桃源郷でハーフマラソン

ピンクリボンサイクリングの前に
行われたイベントが第9回紀の川市
桃源郷ハーフマラソン大会。その開
会式でも激励を。〈4・6 桃源郷運
動公園陸上競技場〉⑤

荒天の桜まつり

橋本市では、やはり荒天により、
会場を満開の桜の下ではなく、産業
文化会館アザレザに移して開かれた
第7回橋本市高野口公園桜まつり記
念式典で挨拶。

屋内とはいえ、高野口木の国庚申
太鼓やマスコット「はしぼう」、「橋
本ちんどん笑会」などのステージシ
ョーで会場を盛り上げていました。

〈4・6〉⑥

特養ホーム「真寿苑」分館

社会福祉法人「真寿会」(田辺市
神島台)の特別養護老人ホームの分
館「真寿苑サテライトぬるみ川」の
完成式で祝辞とテープカットを。

〈4・26 同市中辺路町温川〉⑦

災害時も頼りに

県トラック協会青年協議会の研修
会で講師を。

地域の物流を担う運送業の若手経
営者などのメンバーに向け、感謝と
期待を込めて。

〈5・10 和歌山市・

ルミエール華月殿〉⑧

絶品の「わかしらす」

人気イベント、第16回和歌浦漁港
朝市「おとととと広場」のオープニ
ングセレモニーで挨拶。朝市は和歌
浦湾で獲れたシラス「わかしらす」
や、その釜揚げ、天ぷら、丼、佃煮
などの販売をはじめ、まぐろの解体
即売、もちまき等が行われ、大勢の
人でにぎわいました。
年2回のこのイベント、次は11月
3日(月・祝)。新鮮な魚介類にフ
リーマーケットも。
どうぞ、みなさんも。

〈5・10 和歌浦漁港駐車場〉⑨

SLEEP SELECT

www.sleepselect.co.jp

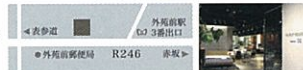
スリープセレクトでは、世界有数のマットレス
ブランド テンピュール®、シーラー®を始め、
多数のマットレスやピローなどを
展示しております。

2014年7月1日、
株式会社シーリージャパンは「株式会社スリープセレクト」へ社名変更いたしました。
弊社は社名変更後も今まで通りシーラー製品の製造を行うと共に、
皆様に今後も継続した業務提供をお約束いたします。
より一層高品質な商品・サービスの提供に努めてまいります。
変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。
株式会社スリープセレクト 代表取締役社長 西村秀之

株式会社 スリープセレクト

本社 / AOYAMA SHOP

東京都港区北青山2-13-5 青山サンクトビル2F
TEL 03-5413-5135 FAX 03-5413-6777
東京メトロ銀座線 外苑前駅より徒歩約2分



SHINSAIBASHI

大阪府大阪市中央区心斎橋筋2-7-18
プライムスクエア心斎橋5F
TEL 0120-790-366 FAX 06-6484-0486
地下鉄御堂筋線 心斎橋駅より徒歩約4分



NAGOYA

愛知県名古屋市中区丸の内3-20-9 三見社ビル1F
TEL 052-857-0200 FAX 052-857-5052
名古屋地下鉄桜通線 久屋大通駅1番出口すぐ



SAPPORO / KORIYAMA / MITO / NAGANO / SHIZUOKA /
KANAZAWA / KOKURA / FUKUOKA

尾花新市長に期待!

鶴保庸介時局講演会「おばな正啓

〈6・1 太地町・くじら浜公園〉10

慰労を。

表彰式で選手や運営関係者に感謝と

TOUR de 熊野」の第3ステージ

プロの自転車レース



ネットワーク活用事業

和歌山ネットワーク輸送協同組合の通常総会で挨拶。全国各地をネットワークでつなぎ、地域の運送業でも全国的な展開を可能とするシステ

選しました。〈6・7 華月殿〉11

さんを励ます会」を開催。



受章のお祝い

海南歯科医師会の新田賢先生瑞宝双光章受章記念祝賀会に出席。新田先生ご夫妻にお祝いとお礼を。

〈7・27 ホテルグランヴィア〉13

関西一の観光ぶどう園

有田はみかんだけでなく、関西随一の観光ぶどう園でも知られています。その「有田巨峰村」(22軒の観光農園)による恒例の「観光ぶどう狩り」のオープニングセレモニーで、仁坂知事らとともに祝辞を述べ、今年も「和歌山名物」の餅まきで大いに盛り上げました。〈8・24〉14



ILLUSTRATED BY H.KUROGANE

ゆるみ止めナットの総合メーカー

U-NUT®

FINE U-NUT®

ゆるみ止めナットの総合メーカー



株式会社 富士精密

Fuji Seimitsu Co., Ltd.

本社: 〒561-0845 大阪府豊中市利倉 3-14-15

TEL: 06-6862-3112 FAX: 06-6862-9880

東京支店 福岡営業所 <http://www.fun.co.jp>



那智勝浦町国政報告会・懇親会
(6.29 ホテル浦島)



青年部ゴルフコンペ表彰式
(5.17 ロイヤルバインズ)



古座川町国政報告会
(3.22 ぼたん荘)



紀美野町国政報告会
(7.6 かじか荘)



新鶴会の会合
(5.24 新宮市・ソップ亭)



桜を見る会
(4.5 和歌山城)



田辺後援会懇談懇親会
(7.26 丸長田辺店)



績木さんボーリング大会
(4.12 グランドボウル)



橋本市国政報告会
(7.27 橋本商工会館)



海南市国政報告会
(6.8 保健福祉センター)



和翔旗杯
(4.13 田井ノ瀬)

官公庁の方へ 楽天の官公庁オークション 公有財産売却・公売
庁内の不要品をインターネットオークションで売却しませんか？



不要品を、楽天の官公庁オークションで売却してみませんか？

官公庁オークションで不要品を売却すれば、いままで費用をかけて処分していたものが新たな歳入に変わります。

どんなものにも欲しい人がどこかに必ずいます。インターネットなら、全国の人に物件を紹介することができます。

■官公庁オークションなら、売れるまで、料金は発生しません

基本料金	出品料	落札後の手数料
¥0	¥0	落札額の2.8% (税抜)

■導入実績

【公有財産売却】内閣府様、文部科学省様、農林水産省様
【公売】国税庁様、門司税関様、和歌山県様 他70機関以上

詳しくは、こちらからお問い合わせください

<http://auction.rakuten.co.jp/event/public/guidance/>

電話：050-5817-7520 (10時～18時) メール：auc-public-sales@mail.rakuten.com

これからが変革の正念場だ

培った経験、知識、実行力に期待の声！

参議院議員 鶴保庸介君と明日の日本を語る会



「経営改革、ビジネスの提議」
講師 鶴保庸介 参議院議員
日本経済再生 副大臣
日本経済再生 副大臣
日本経済再生 副大臣

さる4月11日、恒例の新春「参議院議員 鶴保庸介君と明日の日本を語る会」が、東京シエラトンホテルで開かれました。

司会は志帥会の若手ホープ、小倉将信衆議院議員。第一部は、林芳正農水大臣（当時）から「鶴保先生は知識と経験とやり抜く根性を備えた実行力ある本当の政策通」との応援メッセージをいただいた後、日本マクドナルドホールディングス会長の原田泳幸氏（現ベネッセホールディングス代表取締役会長兼社長）の講演。

テーマは「経営改革、ビジネスの提言」で、アベノミクス、日本経済再生に不可欠なイノベーションについて

て語っていただきました（原田氏はベネッセ社長就任直後、個人情報流出が発覚、対策に奮闘されています）。

第二部は東京後援会の西村秀之会長の御礼の挨拶や国交副大臣だった鶴保議員と訪日外国人旅行者1000万人達成に力を尽くした日本政府観光局の松山良一理事長の祝辞…と続きました。この日は、金曜日火曜日の金曜日でしたが後藤田正純先生や長崎幸太郎先生にも駆け付けていただきました。大勢の方の参加、応援に心より感謝を申し上げます。

写真上右から、注目を集めていた原田氏と林農水大臣（当時）。そして日本政府観光局の松山理事長、長崎衆議院議員 司会の小倉議員。そして第二部では関西後援会の鴻池会長が乾杯の音頭を…



編集後記

今回も国会や議員活動などに関するQ&Aです。

Q. 鶴保議員はこの間、漁業関係の国際会議に出席するため海外出張していたようだけど…。

A. ええ。通常国会が終わって閉会中のこの時期は、首相や大臣をはじめ外遊に出る国会議員が多いよね。

Q. 海外には自由に行けるの？

A. 閉会中は比較的自由に行けるけど、閣僚の場合には、外遊する場合、閣議で了解を得るのが慣習になっているね。

Q. 開会中はどうなの？

A. 開会中の海外渡航には決まりがある。事前に議院運営委員会の理事会の了解の上に議長が許可を出すことになっている。それに滞在日数が8日を超える場合は、本会議の了解が必要だし、委員長職の議員は原則として渡航は認められないんだ。（K）



●写真による活動報告も行っています。

ホームページもぜひご覧ください。

<http://www.tsuruho.com/>

鶴保庸介事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館313号

TEL.03(6550)0313 FAX.03(6551)0313

E-mail: info@tsuruho.com